

## 熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準（概要版）

### 1 福祉サービス事業者情報

#### （１）事業者概要

|                                   |                           |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 事業所名称：<br>(施設名) 広崎保育園             | 種別：保育所                    |
| 代表者氏名：<br>(管理者) 秋口 仁美             | 開設年月日：<br>平成２６年４月１日       |
| 設置主体： 社会福祉法人ゆたか福祉会<br>経営主体： 広崎保育園 | 定員： １００ 名<br>(利用人数) １２０ 名 |
| 所在地：<br>熊本県上益城郡益城町広崎８６９－１         |                           |
| 連絡先電話番号：<br>０９６－２８７－５５００          | FAX番号：<br>０９６－２８７－５５１１    |
| ホームページアドレス                        | www.hirosakihoikuen.com   |

#### （２）基本情報

| サービス内容（事業内容）                               | 施設の主な行事                                     |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 保育所の運営                                     | 入園式、親子遠足、保育参観、運動会、発表会卒園旅行、卒園式、お誕生日会（毎月）芋ほり等 |
| 居室概要                                       | 居室以外の施設設備の概要                                |
| 0歳児クラスから5歳児クラス（6クラス）<br>多目的ホール、給食室、事務室、倉庫等 | 園庭、保護者駐車場                                   |

### 2 施設・事業所の特徴的な取組

|                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び中心の保育を展開（戸外遊び・お散歩多い）</li> <li>・近所の畑で夏野菜、じゃが芋、さつま芋の苗植えから収穫までを行い、クッキングを実施</li> <li>・ICTを導入しタブレット端末を使用した保育を導入</li> <li>・外部コーチによる「ケガをしにくい体作り」を目的とした体操教室を実施</li> <li>・よさこいを保育に取り入れている</li> <li>・絵本の読み聞かせに力を入れている</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 3 評価結果総評

#### ◆特に評価の高い点

##### ①町の「子ども・子育て支援事業計画」を踏まえた現代的で多様な運営方針

令和7年4月、益城町は少子化の進展を踏まえ、町立保育所の一つを熊本県で初の「公私連携型保育所」に再編するなど、保育所を取り巻く環境は厳しいものがあります。そうした中、本園は、平成26年4月に開設された新しい保育園です。運営する社会福祉法人の「中長期計画（2023年～2026年）」の「1. 目標」には「(法人は、) 法人運営の安定化をはかりつつ、資産状況や地域の動向、更には行政の要請等も勘案しながら、保育所新設の可能性を探る。」とうたい、理事長、園長を中心に保育所の多様な在り方を視野に入れた経営の方向性を進められています。また、園長は、町の子ども・子育て会議に委員として参画、「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定に関わられました。平成28年の「熊本地震」以降、地域復興が重大な課題となっている本町にあって、計画の基本理念、「みんなで子育て、生き生き親子」の実現に向けた地域の重要な福祉資源としてその役割は大きいと言えます。

##### ②保育の質の向上に向けた組織的な取組

本園では、「ステップアップシート」や「自己評価チェックシート」を用いて、当該年度の振り返りを実施されています。職員に、①今年度始めたこと、取組んだことで良かったこと、続けて欲しいこと、②変更・改善して欲しいこと、③その他・意見や感想についてアンケートを実施し、その結果を集計、分析して、当該年度の振り返りと次年度の課題を明らかにされています。行事の終了後には、保護者などにアンケートを書いてもらい、各クラスの担任が良かった点、悪かった点を集計・分析されて、次年度の改善に結びつけようと取組まれています。

#### ◆改善を求められる点

##### 苦情・相談業務に関わる対応の実効的な仕組み作り

事務・事業の振り返りには、評価・改善のPDCAサイクルが不可欠です。中でも、保育所にあっては、子どもの保護者の率直な意見・要望をどのようにして把握できるかが業務のカギとなっています。本園では、苦情解決の体制については、「苦情受付窓口の設置について」の中に明記されています。保育のしおりに「相談苦情窓口」として記載され、園内に意見箱が設置され、周知が図られていますが、第三者委員の記載が名前と役職だけのため、今後は、保護者などから第三者委員に直接連絡できるような改善の取組が期待されます。また、保護者が職員に相談や意見を申し出た場合、職員はまずクラスで共有し、園長と主任にそのことを連絡し、組織として対応に努めていることがうかがえました。今後は、相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討、対外的な情報提供の方法などについて実効性を踏まえたマニュアル等の整備など、より一層の仕組み作りの改善が期待されます。

#### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（４００字以内）

今回、初めて第三者評価を受診させていただきました。事前説明では全職員へ説明の為、2日に分けて来園くださり、また丁寧にご説明いただきました。準備につきましては今までやってきたことと現状をそのまま見ていただくこととしました。

そして、評価者の方に来園頂き、当園の保育の質の向上に向けた取り組みや組織としての取り組みを評価いただきましたことで、今後も自信をもって取り組んでいこうと思いました。また改善点につきまして苦情・相談の窓口の間口を広げるなど環境を整え、マニュアル等の整備などより一層の仕組み作りの改善に取り組んでいきます。

その他の部分に関しましても評価結果を真摯に受け止め、不足している部分は職員間で見直したり、作成したりと整備をしていきます。また、職員への周知が足りなかった部分等もありましたので今回をきっかけに定期的に見返す事や、様々な情報を周知していくよう取り組み、園全体の質の向上に努めて参ります。

(別記)

(公表様式1)

## 熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準

## 【保育所版】

## ◎ 評価機関

|         |                    |
|---------|--------------------|
| 名 称     | N P O 法人 九州評価機構    |
| 所 在 地   | 熊本市中央区神水2丁目5番22号   |
| 評価実施期間  | R6年10月29日～R7年7月11日 |
| 評価調査者番号 | ① 1 2 - 0 0 4      |
|         | ② 1 3 - 0 0 2      |
|         | ③ 1 8 - 0 0 2      |
|         | ④ 2 3 - 0 1 1      |

## 1 福祉サービス事業者情報

## (1) 事業者概要

|                                   |                           |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 事業所名称：<br>(施設名) 広崎保育園             | 種別：保育所                    |
| 代表者氏名：<br>(管理者) 秋口 仁美             | 開設年月日：<br>平成26年4月1日       |
| 設置主体： 社会福祉法人ゆたか福祉会<br>経営主体： 広崎保育園 | 定員： 100 名<br>(利用人数) 120 名 |
| 所在地：<br>熊本県上益城郡益城町広崎869-1         |                           |
| 連絡先電話番号：<br>096-287-5500          | FAX番号：<br>096-287-5511    |
| ホームページアドレス                        | www.hirosakihoikuen.com   |

## (2) 基本情報

|                                            |                                                     |     |        |     |     |  |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----|--------|-----|-----|--|
| サービス内容（事業内容）                               | 施設の主な行事                                             |     |        |     |     |  |
| 保育所の運営                                     | 入園式、親子遠足、保育参観、運動会、発表会<br>卒園旅行、卒園式、お誕生日会（毎月）芋ほり<br>等 |     |        |     |     |  |
| 居室概要                                       | 居室以外の施設設備の概要                                        |     |        |     |     |  |
| 0歳児クラスから5歳児クラス（6クラス）<br>多目的ホール、給食室、事務室、倉庫等 | 園庭、保護者駐車場                                           |     |        |     |     |  |
| 職員の配置                                      |                                                     |     |        |     |     |  |
| 職 種                                        | 常 勤                                                 | 非常勤 | 資 格    | 常 勤 | 非常勤 |  |
| 園長                                         | 1                                                   |     | 保育士    | 14  | 7   |  |
| 主任保育士                                      | 1                                                   |     | 子育て支援員 |     | 1   |  |
| 副主任保育士                                     | 1                                                   |     | 栄養士    | 1   |     |  |
| 保育士                                        | 12                                                  | 7   | 調理師    |     | 2   |  |
| 栄養士                                        | 1                                                   |     | 看護師    |     | 1   |  |
| 調理師                                        |                                                     | 2   |        |     |     |  |
| 調理員                                        |                                                     | 1   |        |     |     |  |
| 看護師                                        |                                                     | 1   |        |     |     |  |

|  |        |    |    |     |    |    |
|--|--------|----|----|-----|----|----|
|  | 子育て支援員 |    | 1  |     |    |    |
|  | 事務長    |    | 1  |     |    |    |
|  | 合 計    | 16 | 13 | 合 計 | 15 | 11 |

※ 資格の種別は、保健・福祉・医療に関するものを記入してあります。

※ 複数の資格を持ち重複計上している場合があるため、職種と資格の数は必ずしも一致しません。

## 2 理念・基本方針

### 理念

心身ともに健全なる児童を育成し、生きる力を育む事を目的とする

### 基本方針

1. 豊かな心、丈夫な身体を育てる
2. 日常生活に必要な生活習慣や態度を養う
3. 絵本の読み聞かせなどをおして、感受性豊かで思いやりや感謝の気持ちが持てる子どもに育てる
4. よさこいや体操教室などをおして、意欲をもって取り組める子ども、頑張れるたくましい子どもを育てる

## 3 施設・事業所の特徴的な取組

- ・遊び中心の保育を展開（戸外遊び・お散歩多い）
- ・近所の畑で夏野菜、じゃが芋、さつま芋の苗植えから収穫までを行い、クッキングを実施
- ・ICTを導入しタブレット端末を使用した保育を導入
- ・外部コーチによる「ケガをしにくい体作り」を目的とした体操教室を実施
- ・よさこいを保育に取り入れている
- ・絵本の読み聞かせに力を入れている

## 4 第三者評価の受審状況

|               |                                            |
|---------------|--------------------------------------------|
| 評価実施期間        | 令和 6年10月29日（契約日） ～<br>令和 7年 7月11日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 0 回（平成・令和 年度）                              |

## 5 評価結果総評

### ◆特に評価の高い点

#### ①町の「子ども・子育て支援事業計画」を踏まえた現代的で多様な運営方針

令和7年4月、益城町は少子化の進展を踏まえ、町立保育所の一つを熊本県で初の「公私連携型保育所」に再編するなど、保育所を取り巻く環境は厳しいものがあります。そうした中、本園は、平成26年4月に開設された新しい保育園です。運営する社会福祉法人の「中長期計画（2023年～2026年）」の「1. 目標」には「（法人は、）法人運営の安定化をはかりつつ、資産状況や地域の動向、更には行政の要請等も勘案しながら、保育所新設の可能性を探る。」とうたい、理事長、園長を中心に保育所の多様な在り方を視野に入れた経営の方向性を進められています。また、園長は、町の子ども・子育て会議に委員として参画、「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定に関わられました。平成28年の「熊本地震」以降、地域復興が重大な課題となっている本町にあって、計画の基本理念、「みんなで子育て、生き生き親子」の実現に向けた地域の重要な福祉資源としてその役割は大きいと言えます。

#### ②保育の質の向上に向けた組織的な取組

本園では、「ステップアップシート」や「自己評価チェックシート」を用いて、当該年度の振り返りを実施されています。職員に、①今年度始めたこと、取組んだことで良かったこと、続けて欲しいこと、②変更・改善して欲しいこと、③その他・意見や感想についてアンケートを実施し、その結果を集計、分析して、当該年度の振り返りと次年度の課題を明らかにされています。行事の終了後には、保護者などにアンケートを書いてもらい、各クラスの担任が良かった点、悪かった点を集計・分析されて、次年度の改善に結びつけようと取組まれています。

### ◆改善を求められる点

#### 苦情・相談業務に関わる対応の実効的な仕組み作り

事務・事業の振り返りには、評価・改善のPDCAサイクルが不可欠です。中でも、保育所にあつては、子どもの保護者の率直な意見・要望をどのようにして把握できるかが業務のカギとなっています。本園では、苦情解決の体制については、「苦情受付窓口の設置について」の中に明記されています。保育のしおりに「相談苦情窓口」として記載され、園内に意見箱が設置され、周知が図られていますが、第三者委員の記載が名前と役職だけのため、今後は、保護者などから第三者委員に直接連絡できるような改善の取組が期待されます。また、保護者が職員に相談や意見を申し出た場合、職員はまずクラスで共有し、園長と主任にそのことを連絡し、組織として対応に努めていることがうかがえました。今後は、相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討、対外的な情報提供の方法などについて実効性を踏まえたマニュアル等の整備など、より一層の仕組み作りの改善が期待されます。

## 6 第三者評価結果に対する事業者のコメント（４００字以内）

今回、初めて第三者評価を受診させていただきました。事前説明では全職員へ説明の為、２日に分けて来園くださり、また丁寧にご説明いただきました。準備につきましては今までやってきたことと現状をそのまま見ていただくこととしました。

そして、評価者の方に来園頂き、当園の保育の質の向上に向けた取り組みや組織としての取り組みを評価いただきましたことで、今後も自信をもって取り組んでいこうと思いました。また改善点につきまして苦情・相談の窓口の間口を広げるなど環境を整え、マニュアル等の整備などより一層の仕組み作りの改善に取り組んでいきます。

その他の部分に関しましても評価結果を真摯に受け止め、不足している部分は職員間で見直したり、作成したりと整備をしていきます。また、職員への周知が足りなかった部分等もありましたので今回をきっかけに定期的に見返す事や、様々な情報を周知していくよう取り組み、園全体の質の向上に努めて参ります。

## 7 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

（参考） 利用者調査の手法等

| 調査の手法   | 対 象 者       | 対 象 数(人) | 基準数に満たない場合の理由 |
|---------|-------------|----------|---------------|
| アンケート調査 | 利 用 者 本 人   | 5 2      |               |
|         | 家 族 ・ 保 護 者 |          |               |
|         |             |          |               |
| 聞き取り調査  | 利 用 者 本 人   |          |               |
|         | 家 族 ・ 保 護 者 |          |               |
|         |             |          |               |
| 観 察 調 査 | 利 用 者 本 人   |          |               |

## 第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                   | 第三者評価結果 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|---------|
| I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                   |         |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | Ⓐ・b・c   |
| <p>＜コメント＞</p> <p>保育理念、保育方針などは、ホームページや事業計画、「園生活のしおり」などに記載されています。保育理念は、「心身ともに健全なる児童を育成し、生きる力を育む」と明文化し、保育の特色として、「広崎保育園は、これからを生きる子どもたちの“生きる力”の土台を育てていきます。そのために、“遊び”を中心とした保育。豊かな感性や興味、関心を育む保育」をうたい、保育実践に取り組まれています。例えば園の活動の一つである体操教室では、昔のこども達が野山を走り回って獲得した36の動作を身につけ、生きる力に繋がる。さらに、ICTカリキュラムについて「ICTは21世紀のハサミ」とであると捉え、危険でも使わないといけない、正しく使い方を学ぶことで今からの生きる力に繋がるなどの思いで実施されています。職員への周知には、4月の職員会議で読み合わせをされています。毎年度の職員の自己評価チェックシートに、保育の理念、保育観についての項目があり、理念や基本方針の周知状況を確認されています。保護者への周知には、4月に配布する「ごあいさつ」に、園の保育理念を記載されています。保護者説明会で園の活動について積極的に説明されていることがうかがえました。</p> |                                   |         |

#### I-2 経営状況の把握

|                                                                                                                                                                                                                                                              |                                           | 第三者評価結果 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|---------|
| I-2-(1) 経営環境の変化等に対応している。                                                                                                                                                                                                                                     |                                           |         |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                            | I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | a・Ⓑ・c   |
| <p>＜コメント＞</p> <p>地域（郡・町単位）の園長会にも参加し、児童福祉事業全体の動向や地域の福祉の把握に努められています。</p>                                                                                                                                                                                       |                                           |         |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                            | I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。       | Ⓐ・b・c   |
| <p>＜コメント＞</p> <p>経営課題について、「社会福祉法人ゆたか福祉会 中・長期計画（2023年～2026年）」に、「1 園の安定運営の確立。(1)保育計画に沿った保育の実施 (2)施設整備 (3)ICT化の定着からDXの推進をしていく。 2 経営基盤の確立 3 人材確保・定着・育成 (1)職員の育成 (2)職員の確保 (3)職員の定着 4 地域貢献 5 災害対策 6 事業所における施設整備など 7 その他」という構成で記載されており、それぞれに具体的な課題と対策が策定されています。</p> |                                           |         |

### I-3 事業計画の策定

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                     |         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                     | 第三者評価結果 |
| I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                     |         |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。               | ㉠・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「社会福祉法人ゆたか福祉会 中・長期計画（2023 年～2026 年）」には、「1 園の安定運営の確立。(1)保育計画に沿った保育の実施 (2)施設整備 (3)ICT 化の定着から DX の推進をしていく。 2 経営基盤の確立 3 人材確保・定着・育成 (1)職員の育成 (2)職員の確保 (3)職員の定着 4 地域貢献 5 災害対策 6 事業所における施設整備など 7 その他」が明記されており、それに基づき具体的な課題と対策に取り組まれています。</p>                                                                       |                                                     |         |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。                | a・㉡・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「(単年度の) 事業計画」は、「(1)入所児童について (2)保育の実践などについて (3)職員研修 (4)給食について (5)安全管理について (6)衛生管理について (7)家庭や地域社会との連携について (8)その他」で構成されています。</p> <p>今後は、「(単年度の) 事業計画」の中に、数値目標や具体的な成果などを設定することなどにより、実施状況の評価が行える内容となることが期待されます。</p>                                                                                              |                                                     |         |
| I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                     |         |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | ㉠・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「(単年度の) 事業計画」は、「(1)入所児童について (2)保育の実践などについて (3)職員研修 (4)給食について (5)安全管理について (6)衛生管理について (7)家庭や地域社会との連携について (8)その他」で構成されています。職員対象に、①今年度始めたこと、取組んだことで良かったこと、続けてほしいこと、②変更・改善して欲しいこと（行事・教材・シフト・保育の体制など）、③その他・意見や感想という質問項目のアンケートを実施し、その結果を集計、分析して、今年度の振り返りと次年度へ引き継ぐ取組を決定されています。それを次年度の事業計画策定に反映されていることがうかがえました。</p> |                                                     |         |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。                 | a・㉡・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者等に対しては、事業計画の主な内容についてスマートフォンの連絡用アプリや文章を作成して事業所内に掲示や配布するなど、周知に努められていることがうかがえました。</p>                                                                                                                                                                                                                       |                                                     |         |

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                       | 第三者評価結果 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|---------|
| I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                       |         |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。               | a・b・c   |
| <p>＜コメント＞</p> <p>保育の質の向上に向けた組織的な取組として、「ステップアップシート」や「自己評価チェックシート」を用いて、自分の今年度の振り返りを実施されています。職員に、①今年度始めたこと、取組んだことで良かったこと、続けて欲しいこと、②変更・改善して欲しいこと（行事・教材・シフト・保育の体制など）、③その他・意見や感想についてアンケートを実施し、その結果を集計、分析して、今年度の振り返りと次年度の課題を明らかにされています。ヒヤリ・ハット事例の報告書を回覧し再発防止に努められています。園の行事の終了後には、保護者などにアンケートを書いてもらい、各クラスの担任が良かった点、悪かった点を集計・分析されて、来年度の改善に結びつけようと取組まれています。毎月、職員会議を開催され、職員連絡、クラスの事例検討とその後の経過報告などについて協議が行われています。</p> |                                                       |         |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | a・b・c   |
| <p>＜コメント＞</p> <p>評価結果に基づき、園として取組むべき課題を明確にする取組として、「ステップアップシート」「自己評価チェックシート」を用いて、自分の今年度の振り返りを実施されています。職員に、①今年度始めたこと、取組んだことで良かったこと、続けて欲しいこと、②変更・改善して欲しいこと（行事・教材・シフト・保育の体制など）、③その他・意見や感想についてアンケートを実施し、その結果を集計、分析して、今年度の振り返りと次年度に取組むべき課題を明らかにされています。ヒヤリ・ハット事例の報告書を回覧し再発防止に努められています。園の行事の終了後には、保護者などにアンケートを書いてもらい、各クラスの担任が良かった点、悪かった点を集計・分析されて、来年度の改善に結びつけようと取組まれています。</p>                                      |                                                       |         |

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

|                                                                                                                                                                                          |                                             | 第三者評価結果 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|---------|
| II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。                                                                                                                                                                |                                             |         |
| 10                                                                                                                                                                                       | II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | a・b・c   |
| <p>＜コメント＞</p> <p>園長は自らの役割と責任について、事業計画の職務分掌表に園長の役割と責任について明文化されています。普段の業務や職員会議などで、自らの保育所の運営に関する方針や考え方などを伝えるように努められています。</p> <p>今後は、有事（災害、事故等）における園長の役割について、不在時の権限委任などを明確化されることが期待されます。</p> |                                             |         |
| 11                                                                                                                                                                                       | II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。     | a・b・c   |
| <p>＜コメント＞</p> <p>園長は研修、勉強会、地域（郡・町単位）の園長会などに参加し、遵守すべき法令等について理解を深めるように努められています。職員に対して、職員会議などを通じて、遵守すべき法令等を周知するように努められています。</p>                                                             |                                             |         |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                          |       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-------|
| Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                          |       |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。 | ㉠・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、保育の質の向上について、中長期計画の中に「(1) 保育計画に則った保育の実施」を明記、さらに「職員間で保育レベルのばらつきの無いよう、園内研修や会議を通じ共有を図る。年度ごとの課題を抽出し、修正を行い、次年度の計画作成につなげる。」と記載し、取組まれています。「ステップアップシート」、「自己評価チェックシート」を用いて、自分の今年度の振り返りを実施されています。職員に、①今年度始めたこと、取組んだことで良かったこと、続けて欲しいこと、②変更・改善して欲しいこと（行事・教材・シフト・保育の体制など）、③その他・意見や感想についてアンケートを実施し、その結果を集計、分析して、今年度の振り返りと次年度に取組むべき課題を明らかにされています。</p> |                                          |       |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。 | ㉠・b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「中・長期計画」の中に、経営の改善や業務の実効性について、「業務の効率化、残業削減、働きやすい職場を目指し、ICT化を推進し、業務負荷の軽減を図っていく。」と明記されています。具体的には、昨年度に連絡帳の代わりにパソコンのアプリを導入されたり、保育サービスの稼働率を高めるための取組をされたりしています。</p>                                                                                                                                                                              |                                          |       |

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                    |         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                    | 第三者評価結果 |
| Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                    |         |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | a・㉠・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「中・長期計画」の中に、「職員の定着率を上げるため、『働きやすさ』と『働き甲斐』の環境を整える。」とうたい、「人材確保・定着・育成」について具体的に明記し、取組まれています。法人として、福祉人材確保のために紹介制度やスカウト制度などを導入するように、採用活動に工夫をされています。</p>                                                                                                                                                                                          |                                                    |         |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。                         | ㉠・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念・基本方針に基づき、「職員の心がけ10カ条」、「子どもとの関わり方6カ条」を策定されています。就業規則を策定し、人事基準は明確に定められ、職員に周知されています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                    |         |
| Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                    |         |
| 16                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。        | ㉠・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長が定期的に働き方について職員と面談を実施。そこで把握した意見に基づいて、他の職員の意見を確認するために、職員アンケートを実施されています。アンケートの結果から、最近では時間給の追加など、改善に繋がれていることがうかがえました。職員に、①今年度始めたこと、取組んだことで良かったこと、続けて欲しいこと、②変更・改善して欲しいこと（行事・教材・シフト・保育の体制など）、③その他・意見や感想についてアンケートを実施し、その結果を集計、分析して、今年度の振り返りと次年度に取組むべき課題を明らかにされています。新しい制服を製作する際には、職員にアンケートを実施され、Tシャツやトレーナーなどどのようなタイプを希望するのか、職員の意思を確認されています。</p> |                                                    |         |

|                                                                                                                                                                                                                        |                                                       |       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------|
| Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。                                                                                                                                                                                         |                                                       |       |
| 17                                                                                                                                                                                                                     | Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。                     | a・㉔・c |
| <コメント><br>理念・基本方針に基づき、「職員の心がけ10カ条」、「子どもとの関わり方6カ条」を策定されています。年度初めに「ステップアップシート」を配布、職員は、前年度の振り返り、今年度の個人目標、目指す人材タイプ（なりたい自分）、ロードマップ（いつまでに）、必要となるスキル（なにをするか）を記入し、それを園長が確認し個人面談を実施し共有化に努められています。                               |                                                       |       |
| 18                                                                                                                                                                                                                     | Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。     | ㉓・b・c |
| <コメント><br>園内研修では、①AED 使い方研修、②エピペン使い方研修、③救急対応訓練実施研修、④誤嚥事故の対応研修、⑤ICT ステップアップ研修を実施されています。園内研修の計画は園長と主任が話し合い、現在園にとって必要な研修テーマを踏まえて実施されていることがうかがえました。                                                                        |                                                       |       |
| 19                                                                                                                                                                                                                     | Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。                   | a・㉔・c |
| <コメント><br>園内研修には全員参加できますが、外部研修については常勤職員が参加できることが確認できました。「社会福祉法人ゆたか福祉会 中・長期計画（2023 年～2026 年）」の中に、人材確保・定着・育成について、「職員の質の担保に向けキャリアパスと連動させた研修体系の構築など、人材育成の方法について検討する。」と明記されています。今後は、訪問調査の時に言われていたように、園内研修のより一層の充実などが期待されます。 |                                                       |       |
| Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。                                                                                                                                                                            |                                                       |       |
| 20                                                                                                                                                                                                                     | Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | ㉓・b・c |
| <コメント><br>「実習生へのしおり」を策定し、それを基に実習生に実習の心構えなどの周知・育成に積極的に取組まれていることがうかがえました。実習を担当する職員は、「実習担当者に対する研修」事業を受講されていることがうかがえました。                                                                                                   |                                                       |       |

## Ⅱ-3 運営の透明性の確保

|                                                                                                                                                     |                                            |         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------|
|                                                                                                                                                     |                                            | 第三者評価結果 |
| Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。                                                                                                                    |                                            |         |
| 21                                                                                                                                                  | Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。       | ㉓・b・c   |
| <コメント><br>ホームページに保育理念、保育方針、園での生活、年間行事、採用情報などを公開されています。写真をふんだんに使って、生活や行事などの雰囲気がわかりやすいように工夫されています。採用情報には、職員の声も記載されています。ブログにも普段の活動や行事などを写真付きで公開されています。 |                                            |         |
| 22                                                                                                                                                  | Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | a・㉔・c   |
| <コメント><br>「経理規定」を策定し、それに基づいて対応されていることがうかがえました。会計ソフトを使用されています。必要に応じて、外部の専門家によるアドバイスを、会計ソフトの会社の方や社会保険労務士から受けることができるようにされています。                         |                                            |         |

## Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

|                                                                                                                                                                                                                              |                                                   | 第三者評価結果 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------|
| Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。                                                                                                                                                                                                   |                                                   |         |
| 23                                                                                                                                                                                                                           | Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。              | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域との関わり方について基本的な考えとして、「中・長期計画」の地域貢献や「(単年度の)事業計画」の地域社会との連携などに記載されています。</p> <p>地域の人々との交流として、町主催の金婚夫婦・一人金婚表彰式に参加して子ども達が踊りの演技を披露したり、芋掘りで採れたお芋を近所に配ったり、町の文化会館で園の発表会をした際には、地域の高齢者の方も見ることができるよう公開されています。</p> |                                                   |         |
| 24                                                                                                                                                                                                                           | Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。      | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中学校の職場体験事業(ナイストライ)の受入れなど学校教育への協力をされています。</p> <p>今後は、ボランティア受入れについての基本姿勢の明文化やボランティア受入れについて、登録手続き、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルの整備が期待されます。</p>                                                        |                                                   |         |
| Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。                                                                                                                                                                                                    |                                                   |         |
| 25                                                                                                                                                                                                                           | Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>町のこども未来課、保健師の巡回相談、療育機関など、関係機関・団体との連携に努めておられます。</p>                                                                                                                                                    |                                                   |         |
| Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。                                                                                                                                                                                                 |                                                   |         |
| 26                                                                                                                                                                                                                           | Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。             | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域(郡・町単位)の園長会にも参加し、地域の福祉ニーズ等の把握に努められています。</p>                                                                                                                                                         |                                                   |         |
| 27                                                                                                                                                                                                                           | Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。          | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の福祉ニーズに基づき、町主催の金婚夫婦・一人金婚表彰式に参加して子ども達が踊りの演技を披露しています。水害時の避難場所となっていることがうかがえました。</p>                                                                                                                    |                                                   |         |

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

|                                                                                                                                                                                                                                                               |                                              | 第三者評価結果 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------|
| Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。                                                                                                                                                                                                                                   |                                              |         |
| 28                                                                                                                                                                                                                                                            | Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。 | ㉖・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもを尊重した保育に関する基本方針として、「子どもとの関わり方6カ条」を策定されています。職員会議の時に事例検討会などを実施、その都度、子どもに対する接し方や言葉掛けなどについて話されていることがうかがえました。「自己評価チェックシート」を用いて、子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握に努められていることがうかがえました。</p>                                                     |                                              |         |
| 29                                                                                                                                                                                                                                                            | Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。        | a・㉗・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どものプライバシー保護について、例えば、「水遊び・プールマニュアル」にフェンスにブルーシートをかけて紐で結ぶ（人目につかないよう目隠しをする）ことや、年長児の着替えの際はついたてを設置することなどに取組まれています。</p>                                                                                                                      |                                              |         |
| Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。                                                                                                                                                                                                                   |                                              |         |
| 30                                                                                                                                                                                                                                                            | Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。   | ㉖・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページに保育理念、保育方針、園での生活、年間行事、採用情報などを公開されています。写真をふんだんに使って、生活や行事などの雰囲気わかりやすいように工夫されています。採用情報には、職員の声も記載されています。ブログにも普段の活動や行事などを写真付きで公開されています。見学などの希望にもきちんと対応されています。</p>                                                                     |                                              |         |
| 31                                                                                                                                                                                                                                                            | Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。     | ㉖・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の開始にあたっては、入園時に個別に説明を行ったり、園のしおりに基づいて保護者説明会をされていることがうかがえました。保護者が園のしおりの内容を確認した際には同意書を書いてもらうなど、確認の記録化に努められています。保育の変更にあたり、保護者へはスマートフォンの連絡用アプリの「お知らせ」機能を使って周知に努められています。アプリの「お知らせ」機能により閲覧者は確認できることから、閲覧されていない方には園で周知に努められていることがうかがえました。</p> |                                              |         |
| 32                                                                                                                                                                                                                                                            | Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。    | a・㉗・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>転園する場合、転園先からの要望があった場合、保護者等の同意を得て、保育の継続性に配慮して、この園での援助方法や取組を要録にまとめて、伝えられています。</p>                                                                                                                                                        |                                              |         |
| Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。                                                                                                                                                                                                                                       |                                              |         |
| 33                                                                                                                                                                                                                                                            | Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。    | a・㉗・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々の保育の中で、子どもの満足を把握するように努められていることがうかがえました。保護者に対して、行事後にスマートフォンの連絡用アプリを用いて、感想を頂き、意見の把握と分析に努められていることがうかがえました。</p>                                                                                                                          |                                              |         |

|                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                      |       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------|
| Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。                                                                                                                                                                                                                                        |                                                      |       |
| 34                                                                                                                                                                                                                                                                      | Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。                 | a・㊦・c |
| <コメント><br>苦情解決の体制については、「苦情受付窓口の設置について」の中に明記されています。保育のしおりに「相談苦情窓口」として記載され、周知が図られています。                                                                                                                                                                                    |                                                      |       |
| 35                                                                                                                                                                                                                                                                      | Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。         | a・㊦・c |
| <コメント><br>園のしおりに、主任が相談苦情受付担当者と明記されており、周知に努められています。園内に意見箱が設置され、スマートフォンの連絡用アプリを通じて保護者などが相談や意見を伝えることができる仕組みになっています。<br>第三者委員の記載が名前と役職だけのため、今後は、保護者などから第三者委員に直接連絡できるような改善の取組が期待されます。                                                                                        |                                                      |       |
| 36                                                                                                                                                                                                                                                                      | Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。            | a・㊦・c |
| <コメント><br>保護者が職員に相談や意見を申し出た場合、職員はまずクラスで共有し、園長と主任にそのことを連絡し、組織として対応に努めていることがうかがえました。必要に応じて、会議などで情報と対応策の共有に努めていることがうかがえました。<br>今後は、相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討などについて定めたマニュアル等の整備など、より一層の取組の工夫が期待されます。                                                                    |                                                      |       |
| Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |       |
| 37                                                                                                                                                                                                                                                                      | Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。  | ㉠・b・c |
| <コメント><br>事故発生時の対応と安全確保についての手順として、「広崎保育園安全計画」、「安全管理マニュアル（事故防止及び事故発生時対応マニュアル）」、「安全管理マニュアル（日常保育における安全管理）」、「午睡マニュアル」、「水遊び・プールマニュアル」などを策定されています。園で発生したヒヤリハットを記録し、再発防止のために、職員に周知、共有に努められていることがうかがえました。職員に対して、園内研修で緊急対応訓練実施研修、AEDの使い方研修、エピペンの使い方研修などを実施されています。事例検討会を実施されています。 |                                                      |       |
| 38                                                                                                                                                                                                                                                                      | Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | a・㊦・c |
| <コメント><br>感染症の予防や発生時の対応についての手順として「衛生管理マニュアル（保健と健康管理）」、「衛生管理マニュアル（給食室）」などを策定されています。感染症が発生した場合は保護者などへの周知に努め、家庭と協力して取組まれていることがうかがえました。<br>今後は、定期的に感染症の予防や安全確保に関する職員勉強会などの開催などより一層の取組が期待されます。                                                                               |                                                      |       |
| 39                                                                                                                                                                                                                                                                      | Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。           | a・㊦・c |
| <コメント><br>立地条件から災害の影響を把握し、火災、地震、不審者の対応として「非常時マニュアル」を策定されています。毎月火災の避難訓練を実施、定期的に地震と水害の避難訓練を実施されています。食料や備品などの備蓄を管理されています。                                                                                                                                                  |                                                      |       |

## Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

|                                                                                                                                                                                                                                             |                                                  | 第三者評価結果        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------|
| Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。                                                                                                                                                                                                         |                                                  |                |
| 40                                                                                                                                                                                                                                          | Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。        | a・ <b>⑥</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準的な実施方法として「危機管理マニュアル」、「衛生管理マニュアル」、「安全管理マニュアル」、「午睡マニュアル」、「水遊び・プールマニュアル」などのマニュアルを策定されています。自己評価チェックシートを園で作成し、毎年度自分自身が提供する保育内容や園の職員としての心構え・行動の振り返りを実施されています。</p> <p>今後は、標準的な実施方法について、職員により一層の理解を深めるための取組の工夫が期待されます。</p> |                                                  |                |
| 41                                                                                                                                                                                                                                          | Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。          | a・ <b>⑥</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各種マニュアルは、必要に応じて追加や見直しを実施されていることがうかがえました。</p> <p>今後は、保育の標準的な実施方法について、少なくとも年に1回程度、定期的に実施するための仕組み作りが期待されます。</p>                                                                                                         |                                                  |                |
| Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。                                                                                                                                                                                                     |                                                  |                |
| 42                                                                                                                                                                                                                                          | Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。             | a・ <b>⑥</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画は各クラスで作成し、園長と主任に提出し、確認されています。</p>                                                                                                                                                                                |                                                  |                |
| 43                                                                                                                                                                                                                                          | Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。                 | a・ <b>⑥</b> ・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画は各クラスで作成して、園長と主任に提出し、定期的に評価・見直しをされています。</p>                                                                                                                                                                      |                                                  |                |
| Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。                                                                                                                                                                                                              |                                                  |                |
| 44                                                                                                                                                                                                                                          | Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 | <b>⑦</b> ・b・c  |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の日々の記録や保護者からの記録・連絡などの情報は、パソコンのアプリで管理されています。毎日の情報は朝礼と終礼で共有し、気になることなどは毎月の職員会議などで共有をされています。記録する職員で記録内容や書き方に差異がでないように、「パソコンのアプリで確認・記入すること」を明記し、ドキュメンテーション（保護者への連絡帳のやり方）について、日誌について、記載されています。</p>                       |                                                  |                |
| 45                                                                                                                                                                                                                                          | Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。                 | <b>⑦</b> ・b・c  |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個人情報の保護について、「広崎保育園子どもに関する記録の管理規定」を策定され、記録の保存と管理方法、記録の開示・提供、記録の保存期間と破棄などを具体的に明文化されて、それに基づいて管理をされていることがうかがえました。保護者には「個人情報の取り扱いについて」に基づいて、園の個人情報の取り扱いの周知と協力に取り組まれています。</p>                                              |                                                  |                |

## <内容評価基準>

### A-1 保育内容

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                     | 第三者評価結果 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------|
| A-1-(1) 全体的な計画の作成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                     |         |
| A①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。 | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体の計画は、「保育所保育指針」を踏まえ、園の保育理念、保育方針に基づいて、年度末に主任が作成し、年度末には1年間の保育実践の成果と課題を振り返り、見直しと改善をされています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                     |         |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                     |         |
| A②                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。                  | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設は、事務所を玄関口に作ることで園長と保護者との交流の促進を意図されています。清潔を保つために町のシルバー人材センターを活用し、廊下、玄関、トイレ、階段などの共通部分を毎日掃除されています。2階の3クラスはパーティションの取り外しができ、イベントの時は外して1部屋にすることができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                     |         |
| A③                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。                         | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各クラスごとに複数担任制を取ることで、職員同士のチームとして子どもの状態の把握と一人ひとりに合わせた対応ができるように努められています。気になることや職員全員が知るべきことは事例検討会などを通じて共通理解を深め、どのように対応したらその子どもにとって最善かを確認するように努められています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                     |         |
| A④                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。                   | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一人ひとりの子どもの生活習慣を身につけるために、園での様子や家庭での様子の把握に努められています。園で生活習慣を身につける取組を実施しているときは、保護者へはパソコンのアプリを通じて、ドキュメンテーション形式で写真を用いて伝え、家庭での取組につながるように努められていることがうかがえました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                     |         |
| A⑤                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。             | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育理念は、「心身ともに健全なる児童を育成し、生きる力を育む」と明記し、保育の特色に、「広崎保育園は、これから生きる子どもたちの“生きる力”の土台を育ていきます。そのために、“遊び”を中心とした保育。豊かな感性や興味、関心を育む保育。」に努めると記載し取組まれています。例えば園の活動の一つである体操教室では、昔のこども達が野山を走り回って獲得した36の動作を身につけ、生きる力に繋がるように取組まれています。おもちゃで遊ぶときは、おもちゃを何種類か出して、子どもが好きな遊びをするようにされていることがうかがえました。発表会なども自己決定をするようにして、やりたくない子は「見てても良いよ。」と対応されていることがうかがえました。子どもが何を求めているのかを、主任が子どもにインタビューをして、例えば「ラーメン」と言われた場合、ラーメン体操や毛糸でラーメンを作るなど取組まれています。</p> |                                                                     |         |

|                                                                                                                                                                                                 |                                                                           |       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------|
| A⑥                                                                                                                                                                                              | A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。       | a・b・c |
| <p>＜コメント＞</p> <p>乳児（0歳児）保育では、子どもが愛されているということを感じるように、職員は愛着形成ができるように声掛けと笑顔に努められています。睡眠について5分でも大切なので、一人ひとりに合わせた睡眠が取れるようにパーテーションで仕切ることができるようになっていきます。</p>                                           |                                                                           |       |
| A⑦                                                                                                                                                                                              | A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a・b・c |
| <p>＜コメント＞</p> <p>3歳未満児では、子ども達が自分ですりようとする気持ちを尊重すること、子ども達の興味・関心が出てくるのでそこを大切にすること、安全面を大切にすることなどに努められています。子どもが問題行動をする場合は、その背後には何か理由があると思い、なぜそんなことをしたのかを考え、気持ちを汲み取るようにされています。</p>                    |                                                                           |       |
| A⑧                                                                                                                                                                                              | A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。        | a・b・c |
| <p>＜コメント＞</p> <p>3歳児はクラスがあがってからやること（例えば制服に着替える、階段を上がるなど）が多くなるので、そのことがストレスにならないように年度初めの時期は職員の余裕を作るように担任の数を増やすなど配慮されています。3歳未満児保育では、試行錯誤や集団の中で自分の力を発揮しながら友達と一緒に楽しめるように努められています。</p>                |                                                                           |       |
| A⑨                                                                                                                                                                                              | A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                      | a・b・c |
| <p>＜コメント＞</p> <p>障がいのある子どもの保育について、必要に応じて事例検討会で話し合い、情報の共有と保育内容の検討を行い、適切な対応をするように努められています。療育施設に通っている場合は、その施設の職員と情報共有を行い、適切な対応をするように努められています。担当の職員が外部研修に行き、必要な知識や情報を得るよう努められています。</p>              |                                                                           |       |
| A⑩                                                                                                                                                                                              | A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                       | a・b・c |
| <p>＜コメント＞</p> <p>保護者からの連絡はパソコンのアプリを通じて、園に提出されます。保護者からの連絡は、各クラスでチェックするように取組まれています。8時50分までホールで異年齢の合同保育をされています。午前中に、子どもが眠たそうな場合は睡眠時間の確保のため、5分でもいいので眠るように促したりされていることがうかがえました。18時からおやつを提供されています。</p> |                                                                           |       |
| A⑪                                                                                                                                                                                              | A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。                 | a・b・c |
| <p>＜コメント＞</p> <p>園の職員は小学校教員との連絡会を行い、情報共有に取り組まれています。子どもが、小学校以降の生活について見通しを持つことができる機会として、小学校見学に行き、年長児のクラスには一人ひとりの机を学校のように設置し、パック牛乳を提供されています。保護者が希望する場合、園で個別面談を実施されていることがうかがえました。</p>               |                                                                           |       |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                           |       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-------|
| A-1-(3) 健康管理                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                           |       |
| A⑫                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。                              | ㉐・b・c |
| <コメント><br>子どもの健康管理に関するマニュアルとして「衛生管理マニュアル（保健と健康管理）」、「熱中症について」、「午睡マニュアル」などを策定されています。毎日検温を行い、その際に子どもの様子を見て異常や変化がないかを確認するように努められています。一人ひとりの毎日の健康状態は「健康観察票（視診表）」に、名前と体温、備考に何か気になることがあれば記載し、職員の周知に努められています。「乳幼児突然死症候群（SIDS）」について、0・1歳児は5分ごとに観察し、その都度パソコンのアプリの午睡チェックに入力されています。                                                                                  |                                                           |       |
| A⑬                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。                         | a・㉑・c |
| <コメント><br>身体測定は毎月、内科検診、歯科検診は年に2回実施して、保護者などに報告されています。園で、歯磨き指導、フッ素指導を実施されています。                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                           |       |
| A⑭                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。 | a・㉑・c |
| <コメント><br>アレルギー対応に関するマニュアルとして、「安全管理マニュアル（事故防止及び事故発生時対応マニュアル）」を策定されています。マニュアルには、アレルギー対応、アレルギー症状発生した時の対応のフローチャートを記載されています。アレルギーに対しては、入園の際に医師よりの「生活管理指導表」を提出してもらい、職員は情報共有を行い、適切な対応に努められています。万が一、アナフィラキシー症状が出た場合を想定し、エピペンの使い方研修を実施されています。給食の提供では、除去食にし、アレルギー食用の包丁とまな板、提供するお盆を色違いにして混同しないようにされています。提供する際には、アレルギー対応がっているのか、給食担当者、保育士で確認するように取組まれていることがうかがえました。 |                                                           |       |
| A-1-(4) 食事                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                           |       |
| A⑮                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。                          | ㉐・b・c |
| <コメント><br>子どもが食について関心を深めるための取組として、菜園活動（じゃがいも・さつまいも・なす・トマト・ピーマン・オクラなど）として、子ども達が植え付けから収穫までの体験を得るように取組まれています。さらに、収穫した野菜を使い、子どもの好きなカレーやピザなどのクッキングを実施されています。個人差や食欲に応じて、量を調整され、誕生日や行事の時にはいつもと違う特別メニューを提供されています。食育計画を策定し、食育指導を実施されています。0歳児は担任と話しながら一人ひとりにあった刻みや大きさにして提供し、2歳児はスプーンに乗る大きさに切るなどの配慮に努められています。                                                       |                                                           |       |
| A⑯                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。                 | ㉐・b・c |
| <コメント><br>終礼の時に給食・食育会議として各クラスの職員から、子どもの食べる量、食べている様子、好き嫌い、新メニューの反応などの情報を共有されています。行事食の提供や季節感のある献立となるように配慮されています。「衛生管理マニュアル（給食室）」を策定し、衛生管理に取組まれています。                                                                                                                                                                                                        |                                                           |       |

## A-2 子育て支援

|                                                                                                                                                                                                                                 |                                                        |         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|---------|
|                                                                                                                                                                                                                                 |                                                        | 第三者評価結果 |
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携                                                                                                                                                                                                               |                                                        |         |
| A⑰                                                                                                                                                                                                                              | A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。                | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>送迎の時に家庭での様子を聞き、園での様子を伝えるように努められています。スマートフォンの連絡用アプリを利用して、家庭との日常的な情報交換を行われ、保護者と子どもの成長を共有できるように、ドキュメンテーション形式で毎日写真を付けて連絡を実施、保育園生活の様子をブログで配信、さらに、保育参観、発表会、運動会などがあります。</p>                                     |                                                        |         |
| A-2-(2) 保護者等の支援                                                                                                                                                                                                                 |                                                        |         |
| A⑱                                                                                                                                                                                                                              | A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。                   | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者との信頼関係を築くように、毎日の子ども達の園での様子を、スマートフォンの連絡用アプリを使い、ドキュメンテーションで写真を付けて伝えたり、送迎の時に直接子どもの様子を伝えたりされていることがうかがえました。</p>                                                                                            |                                                        |         |
| A⑲                                                                                                                                                                                                                              | A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>朝の来園時、健康観察の時、着替えている時など、子どもの心身の様子を把握するように努められていることがうかがえました。何か気がついたこと、気になることがあれば、園長・主任に報告し、園として対応されていることがうかがえました。</p> <p>今後は、虐待等権利侵害を発見した場合の実際の対応などについてのマニュアルの整備や、より一層職員の理解を促すために研修の実施などの取組の工夫が期待されます。</p> |                                                        |         |

## A-3 保育の質の向上

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                             |         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                             | 第三者評価結果 |
| A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                             |         |
| A⑳                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | a・b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自己評価チェックシートを園で作成し、毎年度自分自身が提供する保育内容や園の職員としての心構え・行動の振り返りを実施されています。チェックシートは、①保育の理念・保育観、②保育計画・指導計画、③乳児保育、④3歳児未満、⑤3歳以上児保育、⑥保険・安全管理、⑦保護者への対応・守秘義務、⑧広崎保育園の職員としてのあべき心構え・行動、以上の8つの項目で構成され、それぞれに具体的な内容が記載されています。</p> <p>今後は、保育士等の自己評価を、保育所全体の保育活動の自己評価により一層繋げるための取組の工夫と改善が期待されます。</p> |                                                             |         |

(参考)

|                 | 第三者評価結果 |    |   |
|-----------------|---------|----|---|
|                 | a       | b  | c |
| 共通評価基準（評価対象Ⅰ～Ⅲ） | 20      | 25 | 0 |
| 内容評価基準（評価対象A）   | 8       | 12 | 0 |
| 合 計             | 28      | 37 | 0 |